

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている組織を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 婦人科がん治療における分子標的薬の有効性の検証

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 松元 隆（産婦人科・准教授）

### 【研究の目的】

近年、婦人科がん領域において、従来の抗がん剤とは作用機序が異なる「分子標的薬」という新薬が続々と保険承認されています（表参照）。「分子標的薬」とは、病気の原因となっているタンパク質などの特定の分子にだけ作用するように設計された治療薬のことです。今回、当院で治療された、分子標的薬承認前後の婦人科がんの患者さんを解析することで、各種分子標的薬の婦人科がんにおける有効性を評価する研究を行うことと致しました。この研究は婦人科がんにおける有効な治療方法の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

承認日	一般名	商品名	癌種	患者さんの状況	コンパニオン診断
2013年11月12日	ベバシズマブ	アバスチン®	卵巣癌	全て	なし
2016年05月23日	ベバシズマブ	アバスチン®	子宮頸癌	進行・再発／初回化学療法	なし
2018年01月19日	オラパリブ	リムパーザ®	卵巣癌	プラチナ製剤感受性再発・化学療法後の維持療法	なし
2019年06月18日	オラパリブ	リムパーザ®	卵巣癌	初回化学療法後の維持療法	BRCA検査
2020年09月02日	ニラパリブ	ゼジューラ®	卵巣癌	① 初回化学療法後の維持療法 ② プラチナ製剤感受性再発・化学療法後の維持療法 ③ 3回以上化学療法歴のあるプラチナ製剤感受性再発	① なし ② なし ③ HRD検査
2020年12月28日	ベバシズマブ オラパリブ	アバスチン® リムパーザ®	卵巣癌	初回化学療法後の維持療法	HRD検査
2021年12月24日	ペムプロリズマブ レンパチニブ	キイトルーダ® レンビパ®	子宮体癌	プラチナ製剤既治療・進行／再発	なし
2022年09月26日	ペムプロリズマブ	キイトルーダ®	子宮頸癌	進行／再発・初回化学療法	なし
2022年12月23日	セミプリマブ	リプタヨ®	子宮頸癌	プラチナ製剤既治療・進行／再発	なし

### 【研究の方法】

(対象となる患者さん) 2010年1月1日から2027年12月31日までに愛媛大学医学部附属病院において婦人科がんの治療を受けられた患者さん

(利用するカルテ情報) 年齢, 現病歴, 身長・体重, 原発部位, 手術日, 術式, 手術完遂度, 病理組織学的所見, 化学療法の実施日・レジメン・サイクル数または期間・効果, 初回治療終了時の残存腫瘍の状態, 維持化学療法の実施日・レジメン・サイクル数あるいは期間, 放射線治療の実施日・照射部位・照射法・照射量・照射期間・効果, 無増悪生存期間, 全生存期間など

(利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った組織

### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前・住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また, 研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが, 発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報・試料の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院・産婦人科・松元 隆

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は, 【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院・産婦人科・松元 隆

住所：〒791-0295 愛媛県東温市志津川 454

電話：089-960-5379